

第80回国民スポーツ大会冬季大会 スピードスケート(少年男女) 結果

スピードスケート、少年男子・少年女子とともに予選敗退も、全力を尽くす！！

2/5 (木) から 2/8 (日) にかけて、YSアリーナ八戸（八戸市）で行われているスピードスケート。YSアリーナ八戸は国内3例目の国際大会開催が可能な屋内400mスピードスケートリンクであり、令和元年に完成した素晴らしい会場での競技となった。福岡県内にはスピードスケートリンクがないため、本県の選手は県外への遠征を行い、多くの試合に出場するなど、強化に取り組んでいる。

【500m結果】少年女子：新田 菜穂子 予選2組5着 (49秒68) 敗退

【1500m結果】少年男子：森 瑛一朗 予選2組5着 (2分09秒23) 敗退

【1000m結果】少年男子：森 瑛一朗 予選1組6着 (1分19秒50) 敗退

少年女子：新田 菜穂子 予選2組4着 (1分37秒91) 敗退



森 瑛一朗 選手 (沖学園高校・2年)

ショートトラックが専門ですが、スピードスケートでインターハイに出場したため、そのまま国スポもスピードスケートにエントリーしました。1500mでは、スタートで気負いすぎていたのでうまくいきませんでした。1000mも良い結果は出ませんでしたが、来年に向けて良い経験ができました。高校生まではスピードスケートで勝負したいと考えていて、来年の国スポは5000mと10000mに挑戦したいと思っているので、試合に挑むメンタル面を鍛えていきたいと思います！

新田 菜穂子 選手 (沖学園高校・1年)

昨年に引き続き2回目の出場となりました。500mではスタートがうまくいかず、他の選手に着いていくことができませんでしたが、1000mではしっかりとスタートを決めることができました。練習で長い距離を滑り、力を付けていきたいです！

江田 裕信 監督 (県立柳河特別支援学校 (教))

福岡で強化する上では、スピードスケートリンクがないため練習環境整を整えることはもちろん大事ですが、氷に乗る時間を増やしたくさん滑ることや、陸上のトレーニングも取り入れながら下半身の強化も行っています。選手たちは『負けん気』を持っているため、内なる闘志を表にして頑張ってほしいです！



レース中の様子と、レース後観客席にお礼をする森選手



レース中の様子と、レース前に準備をする新田選手



県スポーツ協会派遣の戴ドクターから、コメントをいただきました！

国民スポーツ大会冬季大会に県スポーツ協会派遣の帯同ドクターとして初めて参加した戴 正恒 (たい まさつね) ドクターから、今大会に帯同した感想と選手へのコメントをいただきました。

戴 正恒 ドクター (村上外科病院・整形外科＋スポーツクリニック)

今回アイスホッケー競技に帯同し、『氷上の格闘技』という異名を持つ激しい接触があるスポーツだと実感しました。怪我に関してできる対応はさせてもらいましたが、痛みがある中でのプレーになる選手もいると思います。選手は、大会期間中のみならず終わったあとも含めて、どのようにケアしていったらよいかを考えることが大切であり、我々もできる限りのサポートを引き続きしていきたいと思います。

本国スポも含めて、今後もスポーツに携わる活動は続けていきたいと考えています！

※なお、今大会には長島ドクターと中田トレーナーにもご帯同いただきました。



戴ドクター (中央)

中田トレーナー (左)

2/6 (金) 終了時点での本県の成績 男女総合 7位 女子総合 5位

アイスホッケー成年男子にエールを！ **FIGHT! TEAM 福岡！！**



県スポーツ協会
公式 Instagram

@_SPORTS_FUKUOKA